

し、宅地は其の近傍を選び家屋悉く移転したり。而して三名は溜池築造の議を水下一般に謀り藩庁に請願し、郡奉行以下堰方吏員に至る実地踏査を経たる後、御許可を得て土地を起し文化六年（一八〇九）着手し九ヶ年を経、文化十八年（一八一七）に竣工したり。（奥州新鶴村村誌）

◎大谷地溜池（堤） 水利費

水下部落反別（旧反別耕地整理以前） 大谷地米

| 部落名 | 反別 | 大谷地米 |
|------|--------|---------|
| 新屋敷 | 二七一反三畝 | 一一斗九升四合 |
| 澤田 | 三六〇〇 | 一・五・八 |
| 蕎麦ノ目 | 二〇五・六 | 九・〇・五 |
| 立行事 | 一三〇・七 | 一〇・一・五 |
| 梁田 | 一七四・〇 | 七・六・六 |
| 大石目 | 一三〇・七 | 五・七・五 |
| 上小澤 | 二七四・五 | 一二・〇・八 |
| 下小澤 | 二七四・三 | 一二・〇・七 |
| 出戸田澤 | 一二九・〇 | 一〇・〇・八 |
| 根岸 | 一四四・五 | 六・三・六 |
| 沖中田 | 一二三・四 | 五・四・三 |
| 阿久津 | 一〇一・三 | 四・四・六 |
| 矢ノ目 | 四一・七 | 一・八・三 |
| 水島 | 七九・四 | 三・四・九 |
| 樋渡 | 一五四・五 | 六・八・〇 |
| 合計 | 二四七〇・九 | 一〇八・七・三 |

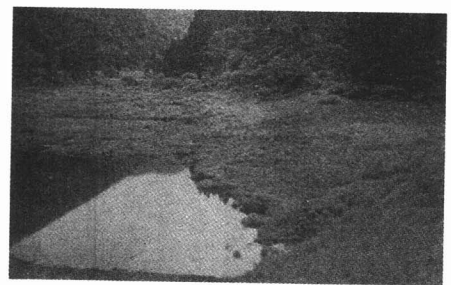
●大谷地米・反・四_合四_勺

上小澤地区 現反当・三合

市 野

市野集落は、天正の頃大谷地の地頭須田大炊介が大谷地の大館へ知行八千石の山城を築城した時、此所に一ノ関を設け役所もあつたと伝えられ、村名も市野と改められたとの伝承である。また地名の別当平は、家臣の馬屋や別当が居り、小館には二十人の武士が居つたと伝えられている。この頃より軽井沢の銀山開発も進められ、周辺の集落は生活の基盤も整つた時代である。集落の地名南沢・西ノ原・草刈場等である。南西の沢沿えに、新田場・北ノ沢・上_{かみくずめざわ}鬮目沢・前ノ沢等で、大谷地・界_{なかい}には道六神・別当平・坂口・古新田・小館・抜ノ下等がある。また上平川沿えに甚五郎、桃ノ平・善加があり、軽井沢境には高平・大高平がある上平境には、上沼・下沼・入ノ沢があり軽井沢分となる。水田は各沢にあるが、軽井沢界に多くある。

本村（軽井沢村）より十八町南にあり家数八軒（現一軒）東西五十三間、南北四十二間山間にあり。（新編会津風土記）



大谷地堤